

静岡県立大学創立25周年記念事業

環境科学研究所・特別講義

日時：平成24年1月18日（水） 13:00～14:30
場所：静岡県立大学看護学部棟13411教室
対象：学部生、大学院生、教職員、その他一般

中西 準子 先生（(独)産業技術総合研究所 フェロー）

安全ではなく、リスクを考える － その理由 －

安心・安全ということがよく言われますが、安全とは何かを考えてみましょう。
「より安全」は割合定義しやすい概念ですが、「安全」の定義は難しいです。
悪いことが何も起きない状態だと考える人もいれば、少しくらい危ない状況があっても「安全」と考える人もいて、どういう状態が「安全」かを定義できないのです。むしろ安全の反対語とも言うべき「リスク」を考える方が、分かり易く、意味がはっきりします。リスクが0（ゼロ）であれば、安全とも言えるのですが、どうして私たちの社会はリスクが0ではないのでしょうか？ そのことについて考えたことがありますか？ 誰かが悪いからだという話は耳にします。本当にそうでしょうか？ リスクとは何か、それをなくすることができるのか、そういうことを考えつつ、安全問題に迫りたいと思います。

プロフィール

中国大連生まれ。環境リスク研究の第一人者。

1967年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（工学博士）。

東京大学工学部都市工学科助手、東京大学環境安全研究センター助教授、同教授、横浜国立大学環境科学研究センター教授等を経て、

2011年3月まで（独）産業技術総合研究所安全科学研究部門の部門長。

横浜国立大学名誉教授。

専門は環境工学（環境リスク学）。

いたずらに危険性を騒ぎ立てるのではなく、リスクを可能な限り定量的に評価・比較し、それをもとに合理的な対策をとるべきであるとの立場から、環境リスク評価手法の確立に多大な貢献。2003年紫綬褒章受章、2010年文化功労者。

問い合わせ：環境科学研究所 セミナー担当
電話054-264-5729 e-mail: kankyo@u-shizuoka-ken.ac.jp